慣用句(上級)プリント29（ルビつき）

月　日　名前 _____

問1　「身の置き所がない」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 満員電車で身の置き所がない。
2. 部屋が散らかっていて身の置き所がない。
3. 引っ越し先が決まらず身の置き所がない。
4. みんなに注目されて、身の置き所がない。

問2　「鳴りを潜める」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. にぎやかな音楽を、鳴りを潜めて大きな音で流した。
2. 応援団が鳴りを潜めて、声をからして大声で応援した。
3. いたずら好きの弟も、先生にしかられてからは鳴りを潜めている。
4. 目覚まし時計が鳴りを潜めて、朝早く大きな音で鳴った。

問3　「頭が上がらない」の意味はどれですか？

1. 相手の能力が自分よりはるかに優れていると認めること
2. 相手に対して引け目や恩義があり、対等に振る舞えないこと
3. 相手の権力が強すぎて、意見を全く言えないこと
4. 相手に対して深い尊敬の念を抱いて従うこと

問4　「見切り発車」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 詳細を詰めないまま見切り発車で計画を進めた。
2. 見切り発車で車を止めて買い物をした。
3. 見切り発車でエンジンをかけて暖機する。
4. 駅のホームで見切り発車をして電車に乗った。

問5　「逃げ口上」の意味はどれですか？

1. 自分の非を認めて謝罪する言葉
2. 相手を説得して納得させるための言葉
3. 相手を罵倒して追い払うための言葉
4. 追及を逃れるために言う、言い訳やごまかしの言葉

問6　「目を向ける」の意味はどれですか？

1. ある対象に関心を持ち、注意を払う
2. 視線をそらして、見ないようにする
3. 自分の失敗を隠すために、話題を変える
4. 相手をじっと見つめて、威圧する

問7　「息を呑む」の意味はどれですか？

1. 激しい運動のあとに呼吸を整えて落ち着く
2. 我慢しきれずに、心の中に溜めていた不満を吐き出す
3. 相手の出方をうかがって、じっと機会を待つ
4. 驚きや感動などで、一瞬呼吸を止めるほど緊張する

問8　「目処が立つ」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 目処が立たないほど背が高い。
2. ようやく仕事の完成に目処が立った。
3. 遠くの山に目処が立っている。
4. 会議の席で目処が立って座った。

問9　「気を張る」の意味はどれですか？

1. 周囲に気を配り、お世辞を言う
2. 自分の意見を曲げず、強情に振る舞う
3. 緊張して、気持ちをしっかり引き締める
4. 期待を込めて、じっと様子をうかがう

問10　「手前味噌」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 失敗してしまったので、手前味噌をかぶって反省した。
2. 友達が親切にしてくれたので、手前味噌を言ってお礼をした。
3. お店で手前味噌を買って、今日の夕飯の料理に使った。
4. 手前味噌で恐縮だが、この料理は我ながらうまくできた。

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「慣用句」のプリント一覧がひらきます

慣用句(上級)プリント29（ルビつき）　答え合わせ・解説

問1　答え 4　みんなに注目されて、身の置き所がない。

「身の置き所がない」の正しい使い方は「みんなに注目されて、身の置き所がない。」です。 意味は「恥ずかしさや居心地の悪さで困る」です。

問2　答え 3　いたずら好きの弟も、先生にしかられてからは鳴りを潜めている。

「鳴りを潜める」の正しい使い方は「いたずら好きの弟も、先生にしかられてからは鳴りを潜めている。」です。 意味は「物音を立てずに静かにする。また、目立った活動をしないでじっとしている」です。

問3　答え 2　相手に対して引け目や恩義があり、対等に振る舞えないこと

「頭が上がらない」は「相手に対して引け目や恩義があり、対等に振る舞えないこと」という意味です。

問4　答え 1　詳細を詰めないまま見切り発車で計画を進めた。

「見切り発車」の正しい使い方は「詳細を詰めないまま見切り発車で計画を進めた。」です。 意味は「十分な準備や検討をしないまま、物事を開始すること」です。

問5　答え 4　追及を逃れるために言う、言い訳やごまかしの言葉

「逃げ口上」は「追及を逃れるために言う、言い訳やごまかしの言葉」という意味です。

問6　答え 1　ある対象に関心を持ち、注意を払う

「目を向ける」は「ある対象に関心を持ち、注意を払う」という意味です。

問7　答え 4　驚きや感動などで、一瞬 呼吸を止めるほど緊張する

「息を呑む」は「驚きや感動などで、一瞬 呼吸を止めるほど緊張する」という意味です。

問8　答え 2　ようやく仕事の完成に目処が立った。

「目処が立つ」の正しい使い方は「ようやく仕事の完成に目処が立った。」です。 意味は「物事の達成や解決の見通しがつく」です。

問9　答え 3　緊張して、気持ちをしっかり引き締める

「気を張る」は「緊張して、気持ちをしっかり引き締める」という意味です。

問10　答え 4　手前味噌で恐縮だが、この料理は我ながらうまくできた。

「手前味噌（てまえみそ）」は、「自分で自分のことや身内・作品などをほめること（自画自賛）」を意味する慣用的な表現です。昔、自分の家で作った味噌（手前味噌）を自慢し合ったことから生まれた言葉です。